

考察

達成度について（A 4点、B 3点、C 2点、D 1点と重みをつけて平均値を算出する。）

【教職員】

- ・ 36 項目の質問に対して、前期は 31 項目、後期は 34 項目が 3.2 ポイント（達成度 80%）を上回っている。また、すべての項目で後期は前期に比べ平均値を上げている。全体の平均値は 3.69 であり、前期比で 0.25 ポイント上がる結果となった。なお、昨年度の全体の平均値は、前期が 3.23、後期が 3.52 である。
- ・ 10. 「いつも 3 つの心を意識して指導している。」、20. 「家庭学習の習慣を身につけさせるために指導している。」については、前期と比べそれぞれ 0.44、0.59 ポイント上昇している。前期の評価を受け、職員個々の意識の向上を図ったことが指導に生かされたと考える。ただし、10. 「いつも 3 つの心を意識して指導している。」については、上昇したとは言え、3.52 ポイントと 36 項目の中では低い値となっており、「あまりあてはまらない」と回答した職員もいる。学校教育目標の具現化を目指すために、今後、職員の更なる意識向上と組織的な取組の強化を図っていきたい。感染症による活動の制限の影響もあり、32. 「PTA 活動に積極的に関わっている。」、34. 「職業・福祉体験等の体験活動を積極的に行っている。」、35. 「ボランティア活動を呼びかけ、地域に貢献できる生徒を育てようとしている。」については、3.00 ポイント程度と低い値になっている。工夫を凝らしながら、コロナ禍でも行える活動を充実させていきたい。
- ・ 昨年度、保護者による評価とポイントの開きがあった 33. 「保護者からの連絡や相談にていねいに対応している。」については、教職員の評価が 3.85 ポイント、保護者の評価が 3.48 ポイントとまだ開きはあるものの、その差は詰まっている。また、同様にポイントの開きがあった 7. 「生徒の相談等には親身になって対応している。」についても、差は詰まっていないものの、保護者の評価は 0.14 ポイント上昇している。取組の改善が一定の評価を受けていると考えられるが、今後、更に丁寧な対応を心がけていく必要がある。13. 「本校の学校行事は時期・内容等は適切である。」は 3.83 ポイントと比較的高い値となっているが、生徒や保護者による評価との間にやや差がある。コロナ禍の中でできる限りのことを行ったと考えて回答した教職員と一昨年までの行事と比べると物足りないと考えて回答した生徒や保護者との回答に対する意識の差が表れたと思われる。意識の差が埋められるよう、丁寧な説明を心がけていきたい。

【生徒】

- 全体として、「あてはまる」、「ややあてはまる」と肯定的な回答が80%を越える項目が23項目中16項目となっており、比較的良好な評価結果と言える。また前期に比べて、16項目で後期に平均値を上げている。
- 4.「夢をもっており、夢に向かって努力している。」については、「あてはまる」、「ややあてはまる」と肯定的な回答した割合が、前期に比べて3.5%、昨年度後期に比べて5.4%増えている。これは、教職員の10.「いつも3つの心（夢・心・汗）を意識して指導している。」、24.「進路学習を通して、自分の進路や生き方について考えさせている。」の評価ポイントが上昇していることと相関関係が見られる。今回の調査で生徒の評価ポイントが低かった、16.「授業は楽しい。」、20.「読書の習慣が身についている。」の項目についても、教職員の意識改革及び取組の工夫で、改善を図っていく必要がある。
- 学校行事については「楽しい」と感じている生徒が多いが、一昨年度までと比べると4.「体育祭や合唱コンクールなど」と5.「修学旅行や校外学習など」の評価は低くなっている。保護者による評価においても、同様の傾向が見られる。コロナ禍において、活動を制限せざるを得なかった影響と考えられる。ただ、今年度は体育祭における演舞の実施等、生徒が充実感を感じ、新たな伝統となり得る取組を実施することができた。来年度も工夫を凝らし、一つ一つの行事をできる限り充実させていきたい。
- 10.「あいさつをいつも心がけている。」、13.「他の人の個性を認め、思いやりのある行動や気持ちを心がけている。」、15.「清掃活動を一生懸命取り組んでいる。」で、「あてはまる」、「ややあてはまる」と肯定的な回答した割合は、いずれも95%前後と高い値となっている。日頃の道徳の学びや生徒指導の効果が出ているとしたら幸いである。また、8.「いじめは絶対に許されないという意識を持っている。」については、例年同様、平均値が3.81と高い。今後も本校の学校教育目標である「夢をもち 自ら伸びる 心豊かな生徒の育成」を念頭に、子どもたちの心を耕す学びを展開していきたい。

【保護者】

- 全体としては、19項目中15項目で、「あてはまる」、「ややあてはまる」と肯定的な回答をした割合が80%を越えている。その中でも90%を超えた項目が8項目となっている。なお、昨年度は80%を越えたのは18項目中13項目、90%を超えたのは18項目中4項目だった。
- 学校の教育活動に関する項目については、「あてはまる」、「ややあてはまる」と肯定的な回答をした割合は、15項目全てで上昇している。特に、3.「学校の授業はわかりやすく、熱心に指導している。」、4.「学校は子どもの悩みや相談に親身になって対応している。」、7.「体育祭や合唱コンクールなど学校の行事の内容は満足できる。」、8.「修学旅行や校外学習等の行事の内容は満足できる。」の4項目は5%以上上昇している。今後とも家庭や地域と一体となって教育活動の充実に努めていきたい。
- 12.「学校は、職業・福祉体験等の体験活動を積極的に取り組んでいる。」については、「あてはまる」、「ややあてはまる」と肯定的な回答をした割合が61.4%と低い。今後もしばらくは感染症の影響で体験的な活動の実施が難しいことを鑑み、代替の教育活動を充実させていく必要がある。